



2018～2019年度
国際ロータリー会長



Tagajo Rotary Club

RI club No. 13674
Since 1972.03.25

バリー・ラシン
Barry Rassin

(パナマ・East Nassau RC)

会長 宮城 順 幹事 引地 辰男

雑誌会報委員会

2018-19年度
国際ロータリーのテーマ
インスピレーション
になろう

第2520地区ガバナー
田中 堯史
(盛岡RC)

◇ 事務所/宮城県多賀城市八幡四丁目2-12 イトビル2F ◇ 例会日/木曜日 12:30～
TEL.022-366-4499 FAX.022-366-4548 ◇ 例会場/ホテル キャッスル プラザ 多賀城
◇ URL;http://www.tagajo-rc.com Email;info2@tagajo-rc.com
宮城県多賀城市桜木一丁目1-60
TEL.022-367-1111

2018年11月22日(木) 第2249回 今年度第20回例会

会場監督 横田 芳博

開会点鐘 12時30分

ロータリーソング 我等の生業

ゲスト・ビジター紹介

宮城県経済商工観光部国際企画課企画調整班
課長補佐 佐治 章彦 様
主幹 佐藤 幸子 様
国際交流員 カギ・ナオ 様
多賀城市国際交流協会 副会長 小野 雅代 様

会長挨拶 宮城 順 会長



明日開催の国際交流協会のお祭りに関してゲストからお話頂きますが、ロータリークラブに限らず地域で活動している色々な団体との交流を今年度の活動目的として挙げておりましたが具体的な事例が明日に成ります。これからますます国際化が進み、旅行客だけではなく、お住みになる方、労働者として日本に入ってくる方がどんどん増えてくるという時代です。その時に街で会ったらどんな振る舞いをしたら良いのか、我々日本人も今までと違う文化をどう受け取れば良いのか多様化の時代になってまいりました。

会員の皆様の中にも海外へいかれた経験のをお持ちの方は大勢いらっしゃると思いますが単なる旅行とは違って生活の中での国際交流と言うのがこれから増々増えてくるのが予想されておりますのでこの機会に身近な海外の方々とのお付き合いを体験して頂く機会として頂ければと思います。

今日は中身の濃い話が聞けるとおもいます。よろしくお祈りします。

幹事報告 引地 辰男 幹事

- ◇利府ロータリークラブより
 - ・創立30周年記念式典への出席の御礼状をいただきました。
- ◇塩釜東ロータリークラブより
 - ・例会臨時変更のお知らせをいただきました。

委員会報告

◇プログラム委員会 穀田 満 委員長
一週間前になっても卓話のテーマが決まらない方もいますので、早めをお願いしたいということで実践フローを作りました。記入例も会長と若手が作りました。これを活用して下さい。

今年度はなるべく自分でお話しいただきたいのですが、出前講座ですと一ヶ月前には頼んでほしいということですので、どうしても都合のつかない方は早めに頼んで下さい。

- ◇クラブ奉仕委員会 佐藤 徳子 委員長
 - ・鹿児島南 RC の60周年記念式典に10名で行って参ります。あちらは、台湾、ドイツ、ウクライナからも関係者が集い総勢224名の式典になるということでした。
 - ・「年忘れ家族会」の出欠締め切りが12月6日です。子供の景品の関係で早めの返信をお願いします。

卓話

「多文化共生社会の推進について」

担当:大久保 美津子 会員

今年、当クラブは多賀城市国際交流協会に団体会員として入会しました。今日は副会長の小野雅代様に活動内容などについてお話を願いました。よろしくお祈りします。



○多賀城市国際交流協会 副会長 小野 雅代 様

本来ならば会長の佐藤美津子、あるいは筆頭副会長の相澤耀司が来てお話しするところですが、明日の「お祭り」を控えてどちらも都合がつかないということで代わりに参りました。よろしくお祈りします。そして、多賀城ロータリークラブさんには今年度から団体会員として入っていただきまして誠にありがとうございます。末永くお付き合いをよろしくお祈りします。



協会の活動内容ということで順を追って、まずは春の「あやめ祭り」。ステージショーの一部と外国人をお呼びして外国の料理を習い、文化センターで練習して試食をして本番に挑むという、外国人の方とお付き合いが密な状態でのお料理を200円程で毎年お出ししています。団体会員になられたので無料券をロータリーさんにお渡ししますので、「あやめ祭り」にいらした際は協会の屋台でお食事をしていただきたいと思えます。ちなみに今年は南米のタコスを出しました。去年はサモアのヨーグルトサラダを出しました。一昨年はインドネシアのナシゴレンを出しました。非常にバラエティにとんだお料理を出しています。

次に夏ですが、多賀城高校の語学研究部の皆さんと協力して被災地の案内を外国人に外国語でという活動をしています。1年目はドイツのスポーツ少年団の方々。2年目はインドネシアの方々。今年は仙台育英学園の中国、韓国、ハイチの留学生を対象に行いました。多賀城高校さんとお付き合いは、ロータリーさんは非常に長いと聞いておりますのでそのあたりでも協力していけたらと思っております。

そして次に「万葉祭り」では、外国人の方を祭りのパレードに参加していただくことを去年から始めています。毎年塩釜のかまぼこ工場に研修に来ている外国の方々には万葉衣装を着ていただき、一緒にパレードをしていますが、非常にノリが良く、沿道に手を振ったり大変盛り上げていただいています。

そして最後に一番大事な「国際交流祭り」。毎年11月に行いますが、これが私たちの大きなイベントでして、外国人の方も一カ国1回お一人をいう形ですが、この祭りには何カ国もの方をお呼びして、以前は多賀城市文化センター小ホールのステージの上と下を利用して行っていたのですが、一昨年から展示室で、フラットに目の前で踊っていただき、目の前でしゃべっていただき外国の方のスイーツをごちそうになるという楽しいお祭りを行っています。明日の1時から3時まで文化センターの展示室で行っています。ちなみに「世界のスイーツを食べて楽しもう」なのですが、以前多文化共

生のお勉強をしたときに県を頼らないで自分たちで外国人を探せと厳しく叱られたことがありまして、今は自力で外国人を探しています。今回スイーツを作っていたのは駅前の「ガネーシャ」に会員が何度も通って友達になり、口説いてネパールのお菓子を作っていただくという経緯を経ましてネパールのスイーツを出しています。小学生のお子さまたちにも非常にウケが良いので、お孫さんお子さんをお連れになり明日のお祭りにいらして下さい。

ついでにもう一つPRです。ジュニア部というのがありまして、小学校3～6年生のお子さまを毎月1回土曜日の1時から3時まで外国人との交流を行っています。色々な遊びをやっていきます。各小学校にチラシが入りますので、ジュニア部にお子さんお孫さんを入れていただきたいと思えます。以上です。

<進行:大久保>小野様ありがとうございました。

最近外国人労働者受け入れ拡大の議論がされております。今日はそのタイムリーなお話しをお願いしました。多文化社会共生の推進について、宮城県経済商工観光部国際企画課の佐治様、佐藤様、国際交流委員のカオ・ナギ様のお三方にご講話よろしくお祈りします。

○宮城県経済商工観光部国際企画課企画調整班
課長補佐 佐治 章彦 様

今日は出前講座ということで宮城県の多文化共生



の取り組みについてご紹介いたします。県職員として出前講座を何回はかしているんですが、今日はあまり経験の無いようなシチュエーションで緊張しておりますがよろしくお祈りします。

表題が宮城県の多文化共生とその現状についてということで、今策定しています多文化推進計画の中身を中心にお話しさせていただきます。

多文化共生は文字通り色んな文化、国籍等の違いに関わらず一緒に生きていく社会を作りましょうという趣旨です。宮城県で計画に基づいて諸々進めているところですが、その背景から説明いたします。発端は総務省で平成18年、地域における多文化共生推進プランを作ったのが発端です。この背景が、外国人登録者が1.5倍に増加したことで外国人施策が全国的に課題になりましたということです。従来国際協力、国際交流という柱はあったのですが、先ほど言った背景を基に地域における多文化共生を第3の柱にしようという国で決めたということです。国の方で基となるプランを作って各都道府県であるとか市町村にもこういった指針なり計画を策定してもらおうとなりました。そういった計画

や指針を作って多文化共生の施策を総合的に実施してくれとお達しがあったということです。こういった背景を受けまして、宮城県では全国初となる多文化共生に関する条例を作ったという経緯があります。条例の中身ですが、基本理念としましては

「多文化共生社会の実現により豊かで活力のある宮城へ」～国籍、民族等の違いに関わらない県民の人権の尊重と社会参画～

を目指しましょうということです。村井知事になってから富県宮城ということで掲げておりましたが、豊かな宮城を多文化共生社会の実現という側面から支えていこうという趣旨です。その条例に基づいて計画を作りましょうということになりました。バラバラに色んな施策をやるのではなくて、一元化してこういった指針で計画をやっていきましょうということです。計画の基本方針としましては

- ・外国人県民とともに取り組む地域づくり
 - ・外国人県民の自立と社会活動参加の促進
- を掲げています。

主に3つの壁の解消に向けてとあるんですが、外国人の方と我々を隔てている3つの壁を一つ一つ解消しましょうということです。

「3つの壁」の解消に向けて	
意識の壁の解消	・基本理念の啓発 ・地域とのつながりの推進
言葉の壁の解消	・多言語化支援 ・日本語学習支援
生活の壁の解消	・家族サポート ・活動支援

【施策1】 地域社会への基本理念の啓発	【施策2】 外国人県民と地域住民との連携の推進
具体例 シンポジウムや研修会の開催 国際理解教育 など	具体例 町内会・自治会や市町村が実施する防災訓練への参加促進 など
評価指標 多文化共生啓発事業を実施している市町村数	評価指標 多文化共生啓発事業を実施している市町村数

【施策3】 情報面からの生活の安全安心の確保	【施策4】 地域社会への適応力向上
具体例 ・公共機関における多言語による情報発信 ・通訳ボランティアによる多言語対応 など	具体例 ・日本語講座の充実 ・ニューカマーへの生活オリエンテーションの実施 など
評価指標 ・多言語による生活情報の提供をしている市町村数	評価指標 ・日本語講座開設数

【施策5】 家庭生活の質の向上	【施策6】 能力発揮の促進
具体例 ・行政の相談窓口の開設 ・専門的な相談機能の充実 ・相談対応者の相談技術の向上 など	具体例 ・外国人県民の就職支援 ・地域活動への参加などによる活躍の場の拡大 など
評価指標 ・外国人相談対応の体制を整備している市町村数	評価指標 ・技能実習生を除く外国人雇用者数

こういった6つの取り組みを進めているのが第二期計画なのですが、毎年度県議会とか有識者で構成される審議会等に取り組み実績を報告しまして、先生方から御意見を頂戴しまして必要があれば直し、効果的な強化するというような事をやっています。

こういったことは県だけでは出来ないもので、地域の国際交流の団体とか市町村、県の国際化協会、教育機関などと連携して行っているところです。今現在は第二期計画に基づいて施策を行っているところですが、今年度で終期を迎えますので、今は第3期平成31年度から平成35年度までの計画を作っているところです。

在留外国人数の推移ということで、今宮城県に住んでいる外国人の数が昨年度末のデータで2万人を突破しました。従来は中国、韓国、朝鮮の方が多かったのですが、ベトナム、ネパールの方が伸びています。さらに在留資格別ということで永住者とか技能実習とか特定活動とか色々あるのですが、留学生と技能実習生の伸びが凄い。留学生が永住者を超えるような勢いで伸びています。ほとんど東北大学の留学生が占めているのですが、数と質の面でも宮城県の中でも大きな動きが見られるということです。

こういった外国人の数と質というところを踏まえつつ、第3期計画を作っているなかで、外国人県民のアンケート調査を実施しました。

アンケート結果から見た、「現状と課題」	
意識の壁	・外国人県民に対する理解の不足・認識の低さ ・地域とのつながりの希薄さ
言葉の壁	・多言語活用ツールの不足 ・学習の機会の不足
生活の壁	・相談内容の質の変化 ・就労支援の必要性 ・文化・習慣等の相互理解の促進

新たな国の動きとして、目指すべき社会として、優秀な外国人が活躍出来る社会を実現させましょう。外国人が共生できる社会を実現させようといった動きがあります。さらに骨太の方針として、国会で審議中ですが、新たな外国人材の受け入れということで、新たな在留資格を創設しましょう。在留期間を延長しましょうということで、数と質の部分でより大きな変化が見込まれます。さらに外国人の方々のLGBTといった動きの新たな課題があります。第3期計画を作っている中で審議し、諸々の意見を踏まえて、基本的な考え方が、

- ・外国人を取り巻く情勢の変化に柔軟に対応し、一人一人が輝ける環境の整備
- ・新たな課題である外国人県民の増加と多様化への的確な対応

というところで計画を策定しています。この計画は現在中間案というところで作ってまして、パブリックコメントとしまして近々HPに公表し、中間案に対して一般の方々からも意見をいただき、修正を加えて、今年度中にとりまとめていきたいと考えています。多文化共生の計画を中心としました現状報告は以上です。



私はナギと申します。出身はアメリカワシントン州シアトルです。実はこう見えてコテコテのアメリカ人です。宮城県に来たのは今年の8月で、まだ3ヶ月しか経ってません。大学時代に一年ほど東京の慶応大学に留学したことがあります、日本での生活はこれで二回目です。

日本に来て一番驚いたのは食べ物がとにかく美味しいことです。シアトルにも日系人がたくさんいるので、和食レストランは多いのですが、本場の味には到底かないませんね。宮城県の食べ物は日本の標準からしても別格で、特に私はかなりの甘党なので、「ずんだ」には一目惚れというか、一口惚れしてしまいました。

戸惑ったことはゴミの分別です。アメリカではペットボトルのリサイクルは行っていますが、日本のような分別はしていませんので最初は混乱してしまいました。今はゴミ分別をマスターしているように聞こえるかもしれませんが、実は今でもプラスチックとペットボトルの違いがわかりません。

好きなタレントはマツケンこと松平健です。マツケンを暴れん坊将軍で知ったんですが、マツケンサンバという歌でファンになってしまいました。

着任したばかりで将来を語るにはいささか時期尚早ですが、帰国した後はアメリカの大学院に入って、その後はアメリカ国務省に入って、これからも日本とアメリカの外交関係に貢献したい所存です。

地域の方には外国人に接するときに、変な先入観を持たないでいただきたいです。アメリカ人だからこうとか、中国人だからこうとか先入観を持たないでほしいです。確かに日本のルールを無視する外国人もいますけれど、彼らの行為を擁護するつもりはありませんが、ほとんどの人が日本が好きで日本に来たわけですから、日本のルールにも従いたいと思っているはずで、彼のアメリカのキング牧師が仰った通り、人は人の肌の色では無く、人の人格を評価するべきだと思います。

<進行:大久保>

今日は大変参考になりました。これから私たちも外国の方々には優しく接していきたいと心新たにしました。ありがとうございました。

スマイルボックス

S・BOX委員会

- ・次年度の組織図も決まり、阿部エレクトも気の引き締まる思いでしょう。横田会員
- ・多賀城駅前にもいよいよ光のページェント点灯です。楽しみです。小向会員
- ・11月23日の多賀城駅前で開催の第1回秋祭りには是非お出で下さい。安住会員
- ・卓話ありがとうございます。

佐山、伊東、大場(裕)、林、岩井、鈴木(誠)、穀田
佐藤(仁)、関、宮城、阿部(新)、引地、赤坂、芦澤
大熊、小島、藤田各会員
本日の合計 23,000 円

出席率報告

出席委員会

本日第 2249 回出席率 25/35(-1)名 73.53%
前々回第 2247 回例会修正出席率 97.05%

○メイクアップ

10/21(月)「ゆめ大会」打ち合わせ

大場光夫青少年奉仕委員長、阿部新康会長エレクト

次回卓話

「クラブ総会」 担当:阿部 新康 会長エレクト

閉会点鐘

13 時 30 分

文責:雑誌会報委員会 小島 邦道

